

地域経済動向調査

令和 7 年 3 月

白石町商工会

本調査報告は、地域経済分析システム（RESAS）や佐賀県が行う統計調査データ等をもとに白石町における経済動向を把握し、小規模事業者の経営発達に資することを目的に作成したものである。

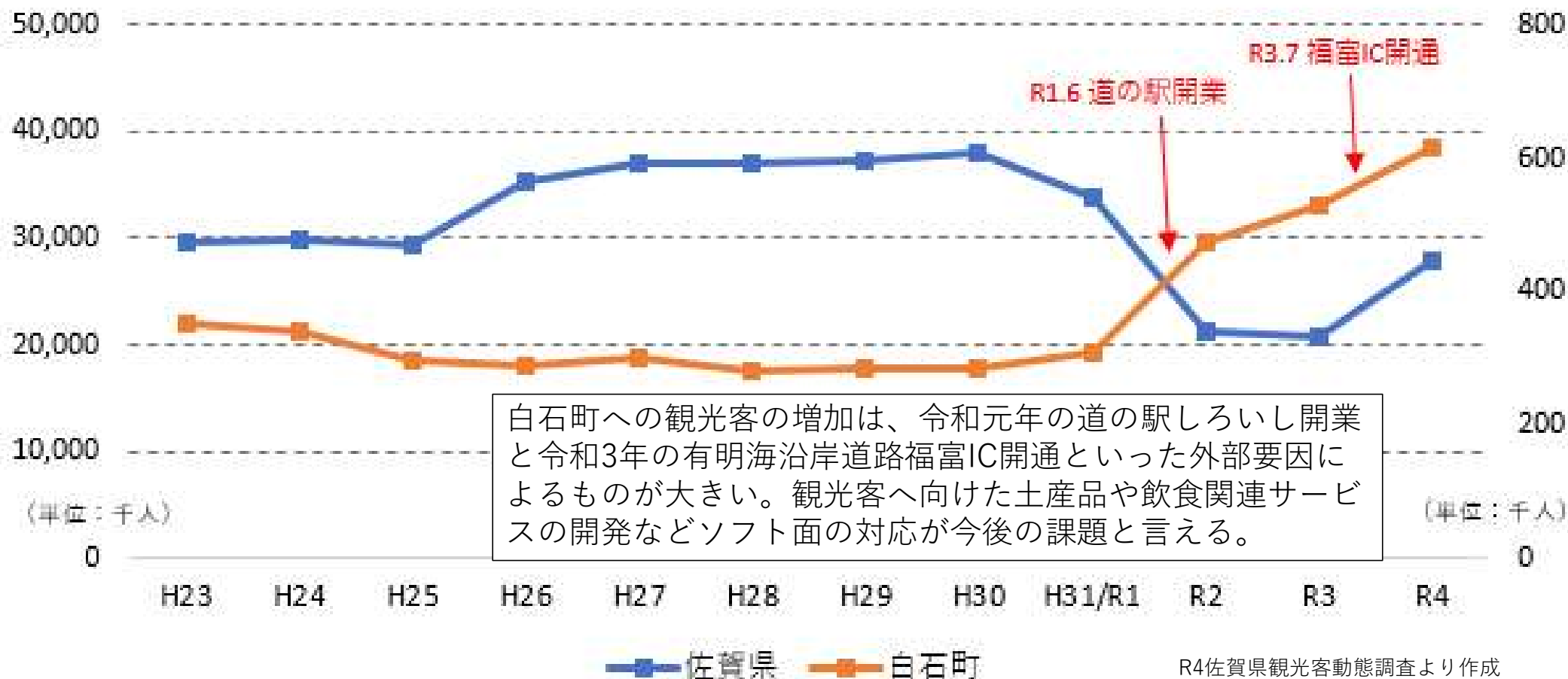
※RESASとは、国が地域経済に関する様々なビッグデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）を、地図やグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムである。URL：<https://resas.go.jp/>

昨年度は白石町全体の地域経済を把握するため、主に、生産、所得、支出の3つの観点から経済循環を捉え、産業構造や消費動向、人の流れを把握し、今後の経営計画策定等に活用することを目的に分析・公表した。

令和6年度は、白石町に新たに観光協会が設立されたことを踏まえ、今後の観光振興につなげるべく、インバウンド消費や観光に着目してデータ集計・分析・公表を行うこととした。

白石町の観光客数の動向やインバウンド消費の動向などを把握することによって、小売業やサービス業における商品やサービスの品揃えや充実につなげ、以て小規模事業者の持続的発展につなげることを目的とした。

観光客数の推移



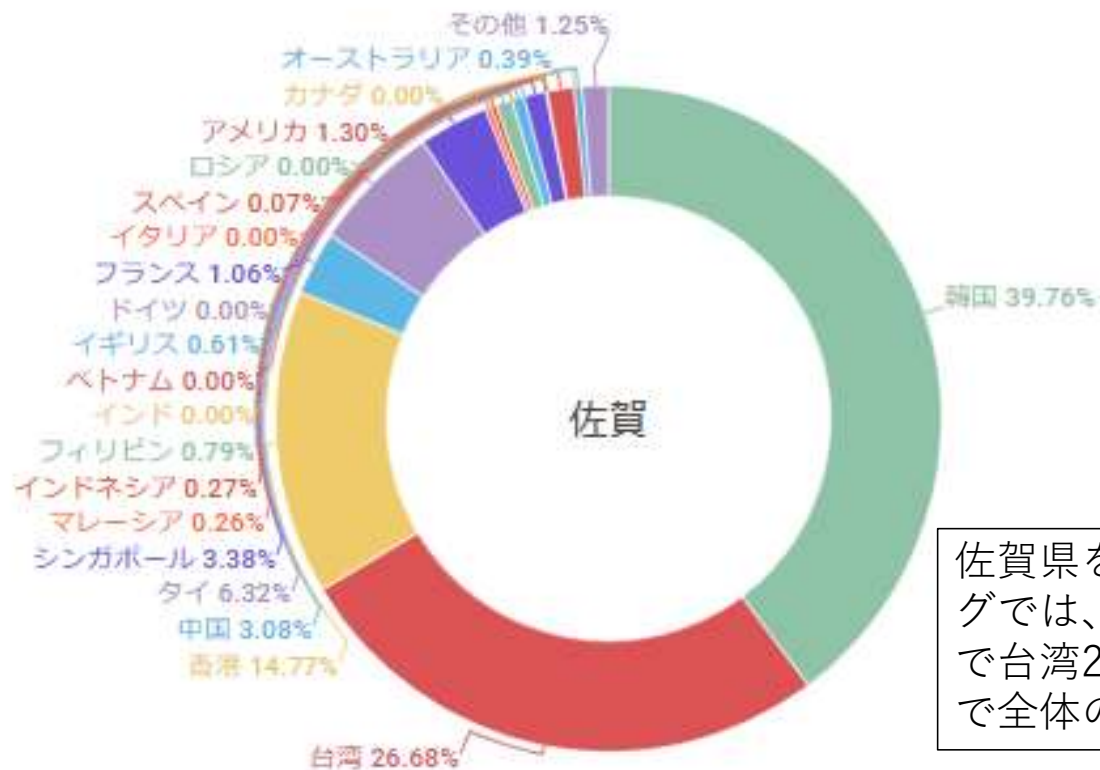
佐賀県のインバウンド人気観光スポットランキング TOP10

1位	鳥栖プレミアム・アウトレット
2位	祐徳稲荷神社
3位	唐津城
4位	御船山楽園
5位	武雄神社
6位	大魚神社の海中鳥居
7位	武雄市図書館
8位	吉野ヶ里歴史公園
9位	鏡山展望台
10位	陶山神社

県内では武雄市を中心に海外からの観光客が訪れている。
白石町への周遊機会も期待できる

出典：Googleマップ上の口コミデータをもとにした訪日ラボ独自調査

佐賀県に来ていた訪日外国人の割合



佐賀県を訪れた外国人の国別ランキングでは、韓国が約4割と最も多く、次いで台湾26%、香港15%とこれら3つの国で全体の8割以上を占めている。

調査方法：「訪日外国人消費動向調査（2023年）国籍・地域別 都道府県別訪問率」および「訪日外客数統計（2023年）」より訪日ラボ推計



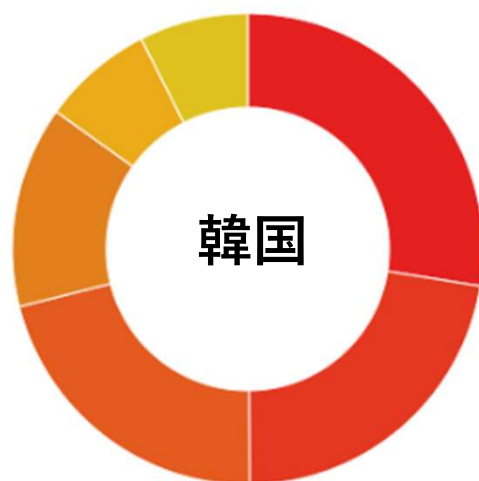
国別一回当たり旅行消費単価

2024年7-9月期

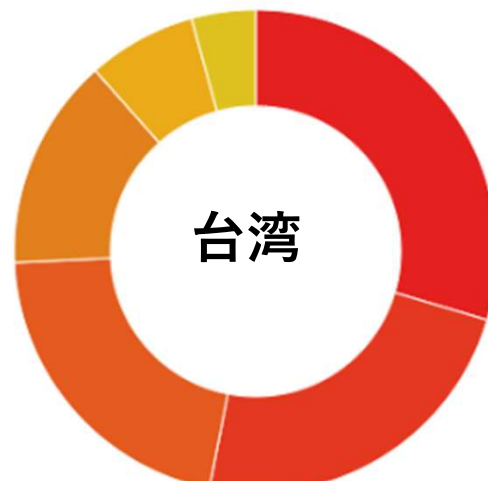
国名／訪日外国人の割合	韓国 39.76%	台湾 26.68%	香港 14.77%	中国 3.08%
男性	117,178円	140,490円	208,913円	238,034円
女性	83,915円	175,505円	235,882円	229,340円

韓国からの観光客は多いものの消費金額は中国や香港が多かった。国によって消費性向が異なることを把握する必要がある。性別では韓国・中国は男性、台湾・香港は女性の方が消費金額は多い。

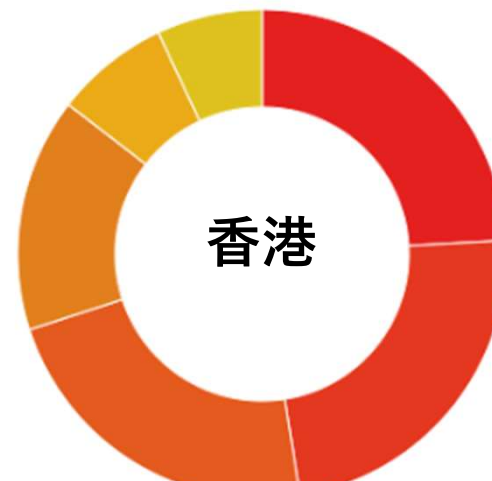
国別・費目別購入者単価



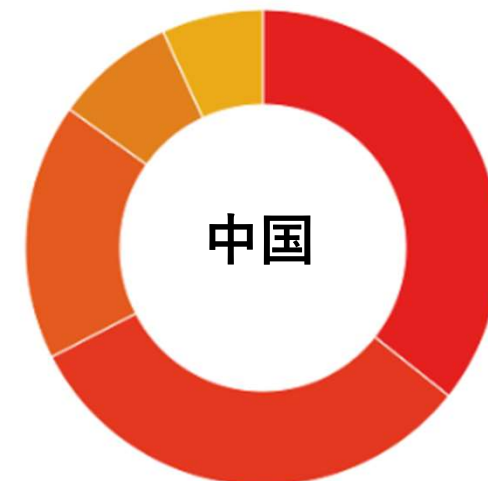
- 1位 宿泊費
37,602円/人
- 2位 飲食費
30,561円/人
- 3位 買物代
28,975円/人
- 4位 その他
18,917円/人
- 5位 娯楽等サービス費
10,434円/人



- 1位 買物代
69,811円/人
- 2位 宿泊費
55,412円/人
- 3位 その他
50,000円/人
- 4位 飲食費
33,490円/人
- 5位 交通費
17,164円/人



- 1位 買物代
75,060円/人
- 2位 宿泊費
72,898円/人
- 3位 その他
70,000円/人
- 4位 飲食費
48,155円/人
- 5位 娯楽等サービス費
23,561円/人

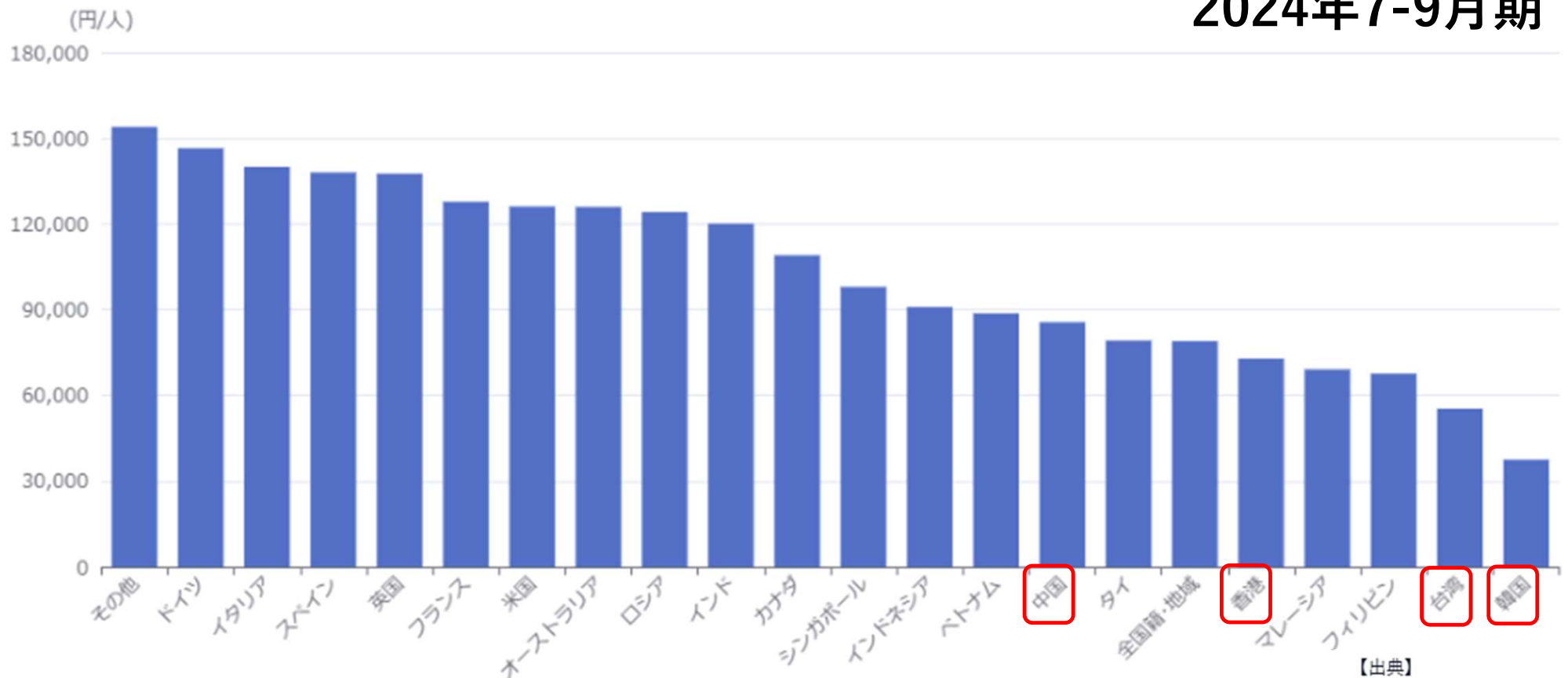


- 1位 買物代
96,284円/人
- 2位 宿泊費
85,650円/人
- 3位 飲食費
47,096円/人
- 4位 交通費
22,216円/人
- 5位 娯楽等サービス費
18,579円/人

各国の消費金額の多い費目は、韓国では宿泊費が最も多く、その他の国は買物代が第1位

国別・宿泊費単価

2024年7-9月期

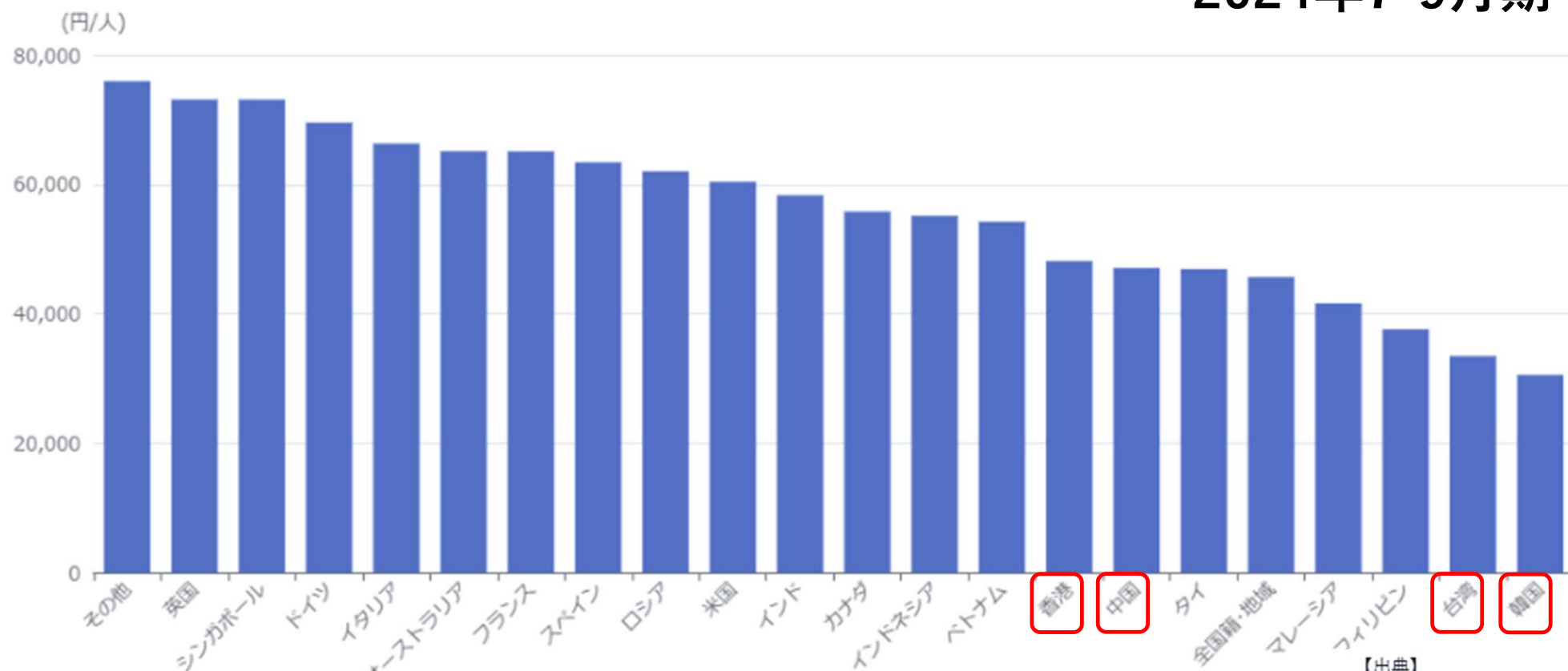


宿泊金額はヨーロッパからの観光客が高く、アジア地域は低いという傾向にある

【出典】
観光庁「インバウンド消費動向調査」

国別・飲食費単価

2024年7-9月期

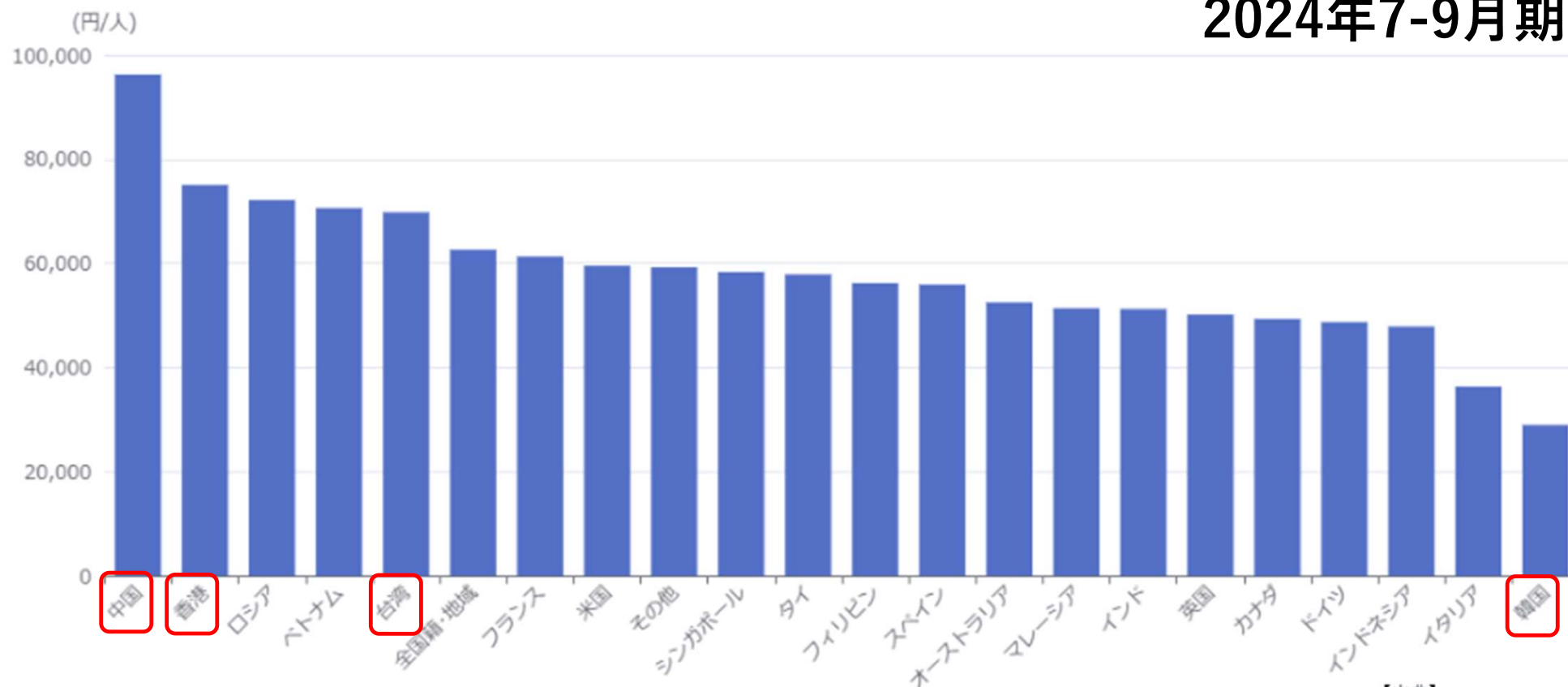


飲食費はヨーロッパ諸国、シンガポールが高く、アジア地域は低い傾向にある

【出典】
観光庁「インバウンド消費動向調査」

国別・買物代単価

2024年7-9月期

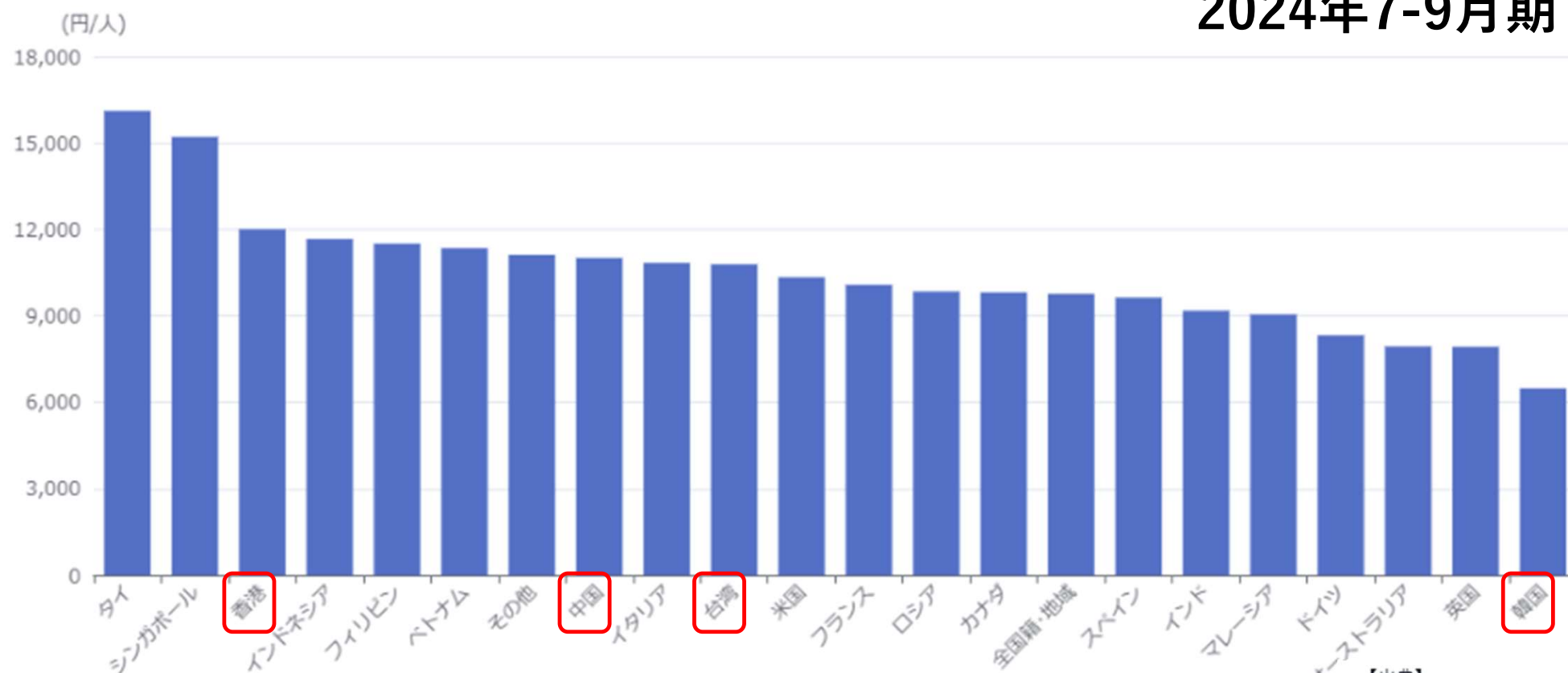


外国人が日本で買い物する金額は中国が飛びぬけて高く、香港、台湾も上位にある。しかしながら同じアジア地域でも韓国は購入金額が低い。

【出典】
観光庁「インバウンド消費動向調査」

国別・菓子類購入者単価

2024年7-9月期

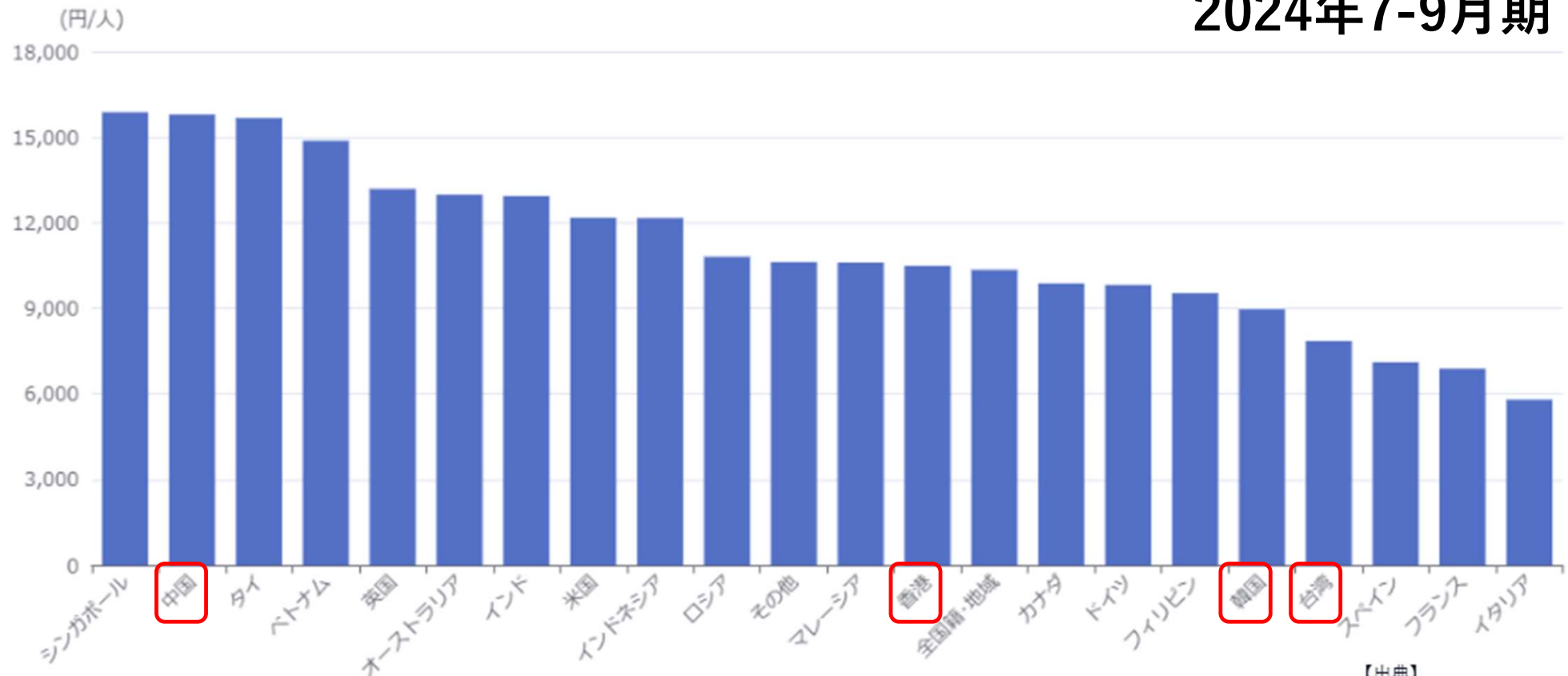


【出典】
観光庁「インバウンド消費動向調査」

購入品目のうち菓子類の購入金額は、タイやシンガポール、香港などアジア地域が高い。金額は一人当たり1万円前後が中心である。

国別・酒類購入者単価

2024年7-9月期



購入品目のうち酒類の購入金額は、シンガポール、中国、タイなどアジア地域が高い。

【出典】
観光庁「インバウンド消費動向調査」

インバウンド消費についての考察

- 佐賀県を訪れた外国人は、韓国と香港で全体の3分の2を占めている。
- 韓国人観光客は他国より最も多く来県しているものの、日本での消費金額は非常に少ない。
- 中国、香港、台湾人観光客は、宿泊や飲食よりも買物に消費する傾向が強く、品目別では菓子類が最も多い。

⇒ 今後、円安が続けば外国人観光客の訪日が増えると予想されるため、国によって消費行動や志向が異なることを認識した上で、ニーズに合った商品開発や品揃えの充実を図る必要がある。

調査結果を踏まえた経営支援の方向性

- 道の駅しろいし開業や有明沿岸道路福富ICの開通により増加した観光客は、主に九州北部エリアから車での来店が多いと推測される。
- 現時点では主に国内観光客が中心であるが、今後、白石町観光協会を通じた観光振興によりますます海外からの観光客増加も期待されている。
- 過去にはR1の道の駅しろいしオープンへ向けて農業者による六次産業化商品の開発が行われてきたものの、商工業者の関わりは決して十分とは言えなかった。
- 飲食店においては白石ならではのオリジナルメニューの開発や提供は行われておらず、近隣地域の「たろめん（大町町）」、「ちゃんぽん・カツ丼（武雄市）」、「たらふく丼（太良町）」などに遅れをとっている。
- 商工会では、今後も増加が期待される観光客に対して、白石町で採れた農産物や海産物を使った土産品、加工品、飲食メニューの開発を支援することで、関連する生産農家や小売店等の経営向上を支援していく必要がある。
- 令和7年度は、観光・サービス部会や商業部会、飲食店組合の意見を聞きながら、町と一緒に観光客をもてなすソフト面の取り組みを進めていきたい。